

令和3年度第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和3年度第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会		
●日程	令和3年12月23日	(木) ~	令和3年12月24日 (金)
●会場	東京体育館		
●講師	なし		
●スケジュール	令和3年12月23日 (木)		
	12:00 審判控室集合・PGC		
	13:00 各自ウォーミングアップ		
	13:45 コートイン 14:00 ゲーム開始		
●担当試合	令和3年12月23日 (木) 14:00 ~		
	対戦カード	四日市メリノール学院(三重)	VS 東京成徳大学高等学校(東京)
	主審	CC 村上氏(神奈川) U1	山岸氏(埼玉) U2 太田
	講師/主任	なし	
講評	<p>試合後にクルーでMTを行った。</p> <p>試合前にクルーで確認したクロックの管理については協力し、取り組み続けることができた。また、同タイム入退場についてもクルーで対応することができ、クルー間で良いコミュニケーションが取れた。</p> <p>クルーの反省としては、ディフェンスのシリンダーを超えた接触についてもっと基準を示したかった。特に、レシーブ前のオフボールについては整理が必要であった。メカニクスが崩れかけたときがあり、ローテーション時にはクローズダウンやバックペダルの活用が必要だった。積極的にローテーションしたことは良かったが、ローテーションをしない選択を、リードが「何を見るべきなのか」を判断基準にできるとなお良かった。</p>		
自己の感想	<p>事前に映像を確認し、準備をして試合に取り組むことができた。試合ではポストプレイやドライブ、スクリーンなど接触のあるプレイが多かったので、位置を意識した。その中でリードでローテーションするタイミングに課題を感じた。</p> <p>また、センターでプライマリとしては目の前のスクリーンを判定しなければならない現象で、パイプ内のショットに目を当ててしまい、スクリーンの判定ができなかった。その際にトレイルが、私の視野がショットにいつていることから、スクリーンに目を当て判定していただいた。私のプライマリの意識不足を感じるとともに、自分もクルーチーフメンタリティを強く持っていきたいと感じた。</p>		

令和3年度第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和3年度第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会		
●日程	令和3年12月23日	(木) ~	令和3年12月24日 (金)
●会場	東京体育館		
●講師	なし		
●スケジュール	令和3年12月23日 (木)		
	12:00 審判控室集合・PGC 13:00 各自ウォーミングアップ 13:45 コートイン 14:00 ゲーム開始		
	令和3年12月24日 (金)		
	7:30 審判控室集合・PGC 8:00 各自ウォーミングアップ 8:45 コートイン 9:00 ゲーム開始		
●担当試合	令和3年12月24日 (金) 9:00 ~		
	対戦カード	京都精華学園(京都)	VS 慶進(山口)
	主審	CC 林原氏(千葉) U1	太田 U2 田中氏(東京)
	講師/主任	なし	
	講評	試合後にクルーでMTを行った。 序盤はクルーとして、センターに対しての守り方や手の整理など基準を示すことができた。しかし、試合が展開していき、基準の一貫性がなくなっていき、オフェンスの影響をみてから笛に繋げてもよいものがあった。基準については、クルーで試合中に確認しあう必要があった。 また、リードのローテーションについてはクルーで試合中に確認することがポイントであった。もう1テンポ我慢して、ステイするべき場面が多かったとクルーで感じている。全体的にコミュニケーションを積極的に行うことが改善に繋がったと思うので、課題として持ち帰りたい。	
自己の感想	事前に映像を確認し、準備をして試合に取り組むことができた。試合ではプライマリの意識を強く持って、判定に繋げることができた。その中で、オフェンスのシリンダーについて迷ってしまうケースがあり、自分の位置が悪いことや動きながらの判定になっってしまうことがあった。課題であるリードの動きについても、ボールに左右されてしまうことがあり、どの位置で何を判定するのか、もっと明確に根拠をもっていくべきだと感じている。今後も今回の貴重な経験を糧に精進していきたいと思う。最後に今大会の参加に際しまして、機会をくださった大阪府バスケットボール協会審判委員の皆様にご心より感謝申し上げます。		